

9. 豊かな感性を育み多様な子どもと一緒に学ぶ教育を実現する

() 内は前年度当初予算

(1) ふるさと教育など豊かな人間性を育む教育の推進

1 億 258 万円 (1 億 454 万円)

小中学校の児童生徒に対して、本県の自然・歴史・文化・産業等に触れる活動を通じて「ふるさと岐阜」の魅力を学ぶ機会を提供するとともに、県立高校では、大学や産業界、企業等と連携・協働し、地域課題を発見・解決する探究的な学びを実施。

(2) 中高生等を対象にしたキャリア教育の充実

1 億 7,557 万円 (1 億 7,557 万円)

地域、産業界などの関係機関と連携し、地域の担い手となる人材を育成するため、県立高校の各専門学科の特性を踏まえた実習装置・設備を整備するとともに、来日して間もない外国人児童生徒を対象とした日本語初期指導等を実施。

(3) デジタル人材育成に向けた教育環境の整備

11 億 4,959 万円 (2 億 4,146 万円)

高校段階におけるデジタル人材を育成するため、高度な I C T 機器の整備を行うとともに、教育用生成 A I を授業の支援ツールとして活用することにより、生徒への指導を充実。

(4) 教職員の働き方改革と優れた教職員の確保のための環境整備

6 億 7,230 万円 (5 億 4,490 万円)

教職員が本質的に担う児童生徒への指導や教材研究に専念できるよう、業務をサポートする補助員などの配置を支援するとともに、本県で継続して活躍する教員を確保するため、県内公立学校に一定期間勤務することを条件に、貸与を受けた奨学金の返還を支援。

(5) 「ぎふ木育 30 年ビジョン」の実現に向けた木育の推進

1 億 1,050 万円 (1 億 252 万円)

「ぎふ木遊館」や「森林総合教育センター (m o r i n o s)」を核として、森や木に親しみ、森とのつながりや森林文化の豊かさを、木のおもちゃでの遊びなどの木育体験や森林環境教育などにより、子どもから段階的、継続的に学ぶ機会を提供。

○今後検討を進める施策

- 自然環境を活用した教育プログラムを充実させる。特に、土や動物に触れる機会を拡大し、子どもの感性を育むとともに、免疫力を向上させるための取組を行う。
- 異年齢集団による教育活動やワークショップなどソーシャルスキルを向上させる取組を推進し、人間関係を円滑にする環境を整備する。
- 故郷を学び発信できる教育を充実させ、林間学校などにより県外他地域との定期的交流を推進する。
- 学校教育における地域住民の関わりを増やすとともに、学校給食の安全性と質の向上を図る。
- インクルーシブ教育、不登校対応、フリースクールとの連携など、多様な子どもが学べる教育を推進する。